

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。
	地理歴史	内容が系統的であり、配列や関連づけも適当である。また、適切な創意工夫がなされている。
	公民	生徒の興味・関心を引き出す内容で、科目の目標に適合している。
	数学	本校生徒の実態に即している。内容が系統的であり、配列や関連づけも適当であり、適切な創意・工夫がなされている。
	理科	本校生徒の実態に即した内容となっている。また、内容が系統的で配列や関連づけも適当であり、適切な創意・工夫がなされている。
	保健体育	生徒の実態に即している。本文の説明や表現が分かりやすく、図表等も正確である。
	芸術	内容が教科・科目の目標に適合している。内容が本校の生徒の実態に即しており、配列や関連付けも適切で分量もよい。
	外国語	内容が興味深く、生徒の実態にあった編集がされている。ワークブックとの関連も適切である。
	家庭	本校生徒の実態に即している。内容が系統的であり、配列や関連づけも適当であり、適切な創意・工夫がなされている。
	情報	
主として専門学科において開設される教科（専門教科）	農業	
	工業	
	商業	程度が生徒の実態に即し、適当である。内容が系統的であり、関連付けも適切である。
	水産	
	家庭	程度が本校の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。
	看護	
	情報	
	福祉	